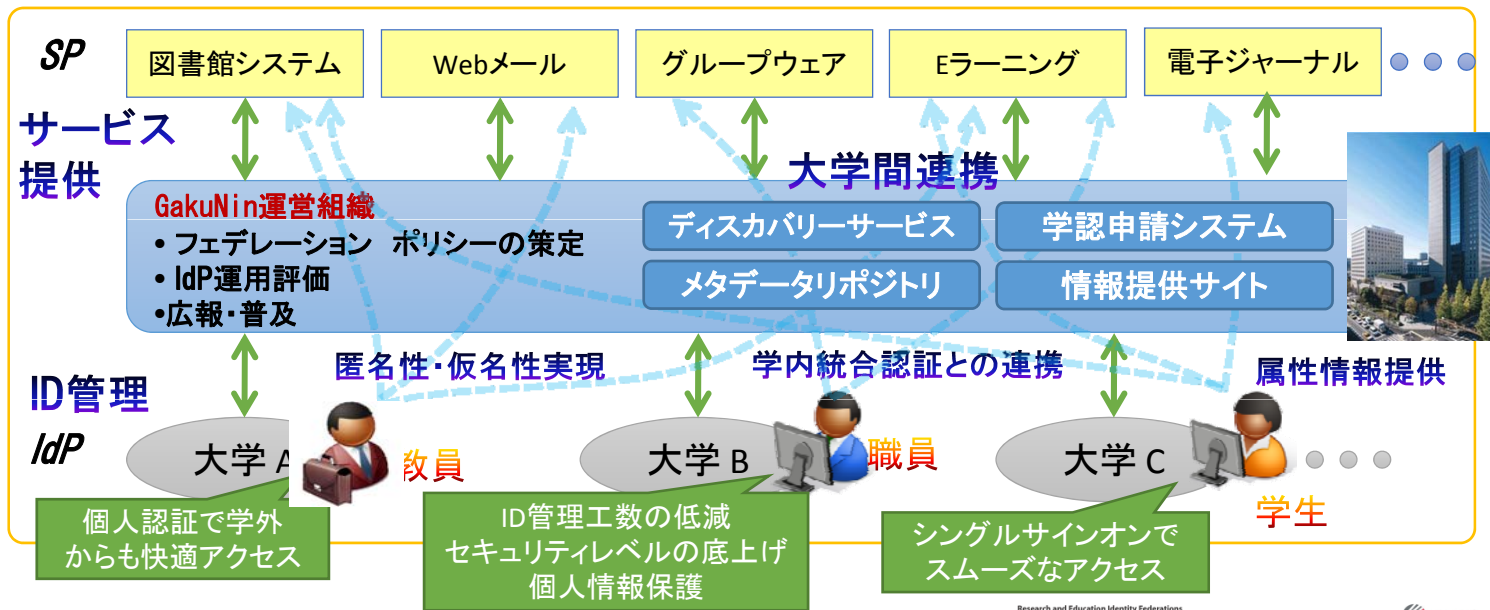




# 6-2. 学術認証フェデレーション「学認」

- ◆シングルサインオン(SSO)技術の活用による、これまで一つの大学・研究機関の中に閉じていた認証システムが組織外のサービスとも連携するための枠組み
  - ・ 利便性の向上と管理コストの削減による、教育研究のためのICT環境の充実を支援
- ◆ID提供側(IdP)とサービス提供側(SP)との相互の信頼を担保するためのルールと評価の仕組みによる信頼の枠組み(トラストフレームワーク)の提供
  - ・ セキュリティとプライバシーを考慮した安全・安心なシステム

クラウドの活用を支援



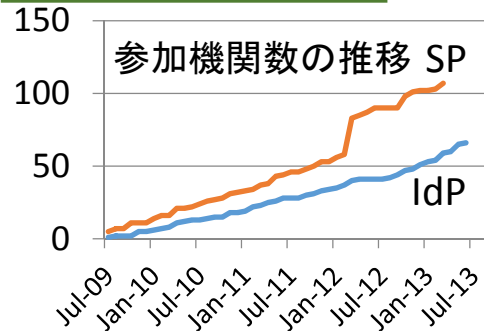
民間フェデレーションとの連携による学割サービス等の開発

より高度で便利な本人確認手法との連携機構の開発と提供

信頼レベル(LoA: Level of Assurance) 認定による格付け

きめ細かなプライバシー保護のための制御機構の開発と提供

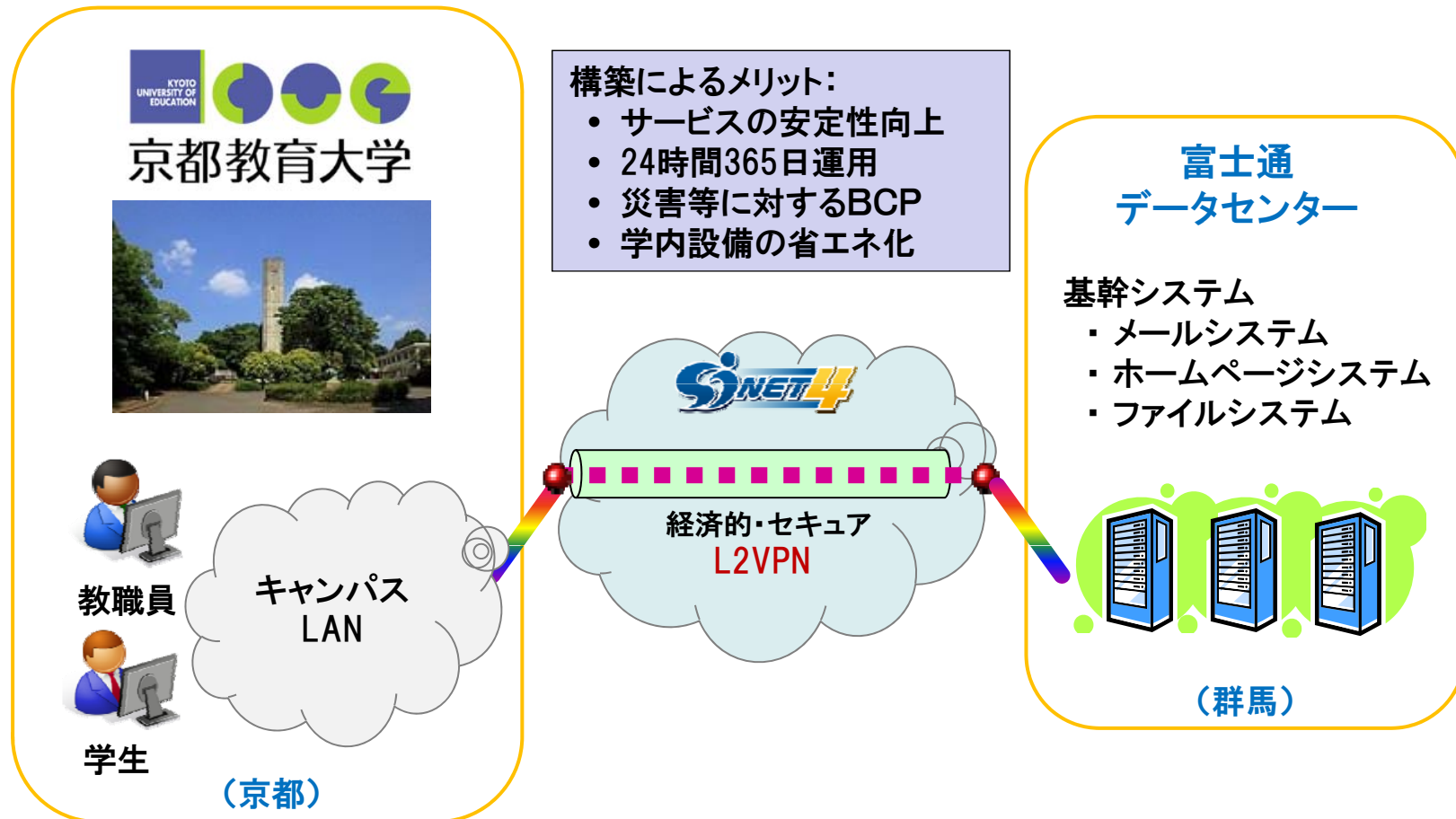
共同研究や共同利用を支援するグループアクセス機構の提供





## 6-3. SINET VPNを用いた商用クラウドサービス利用

- ◆ 京都教育大学では、事業継続計画(BCP)対策及び学生へのサービス向上のために、メールシステム、ファイルシステム、ホームページサーバを民間のデータセンターへ移行
- ◆ SINET4のL2VPNを用いて、経済的・セキュアな運用を実現





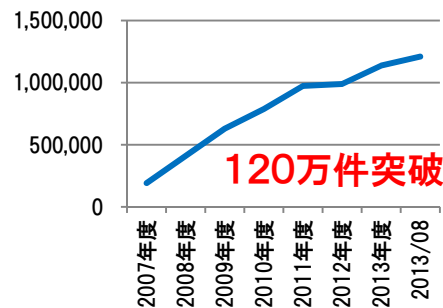
## 6-4. 機関リポジトリの推進

◆ **大学の教育研究活動の成果である多様な学術情報**の流通を促進し、国内外で活用するために、大学と国立情報学研究所が連携して「**機関リポジトリ**」※の構築を推進し、学術情報を電子的に**収集、組織化、保存、発信**する。(平成17年度～)

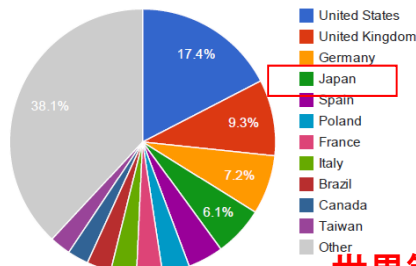
- ・ 大学において研究、学習・教育活動を実施、推進するための基盤の整備
- ・ 大学全体の知的資産を把握・可視化し、国内外に迅速かつ広範に情報発信

※ 機関リポジトリとは、大学・研究機関等で生み出されたさまざまな知的生産物(論文、実験データ、教材等)を集約・蓄積・保存し、発信するためのインターネット上の電子書庫

機関リポジトリで本文閲覧可能なコンテンツ数の推移

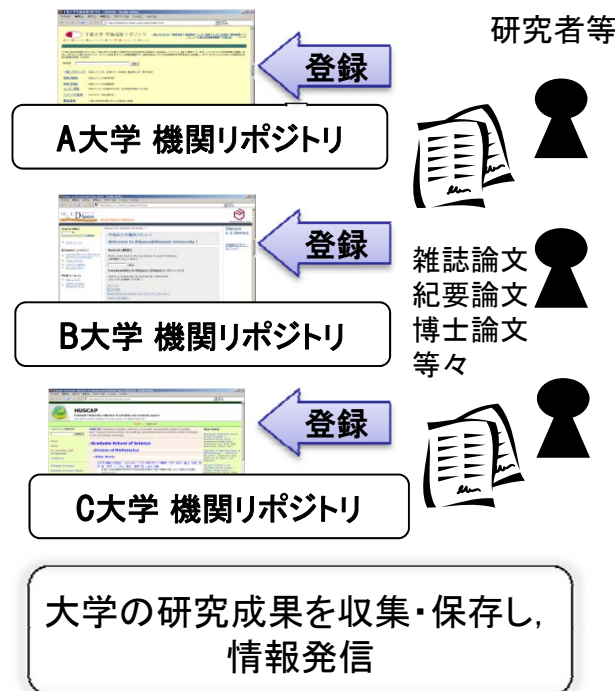


Proportion of Repositories by Country - Worldwide



Total = 2269 repositories  
OpenDOAR - 03-Apr-2013

**世界第4位の  
機関リポジトリ数**



### NIIの役割

- ・ 大学との連携による機関リポジトリ構築の推進
- ・ 研究成果のオープンアクセス推進
- ・ メタデータ標準整備
- ・ 自動収集による学術情報流通の促進・発信力の強化
- ・ コンテンツの横断検索提供
- ・ 機関リポジトリシステムの構築支援
- ・ 機関リポジトリソフトウェア WEKOの開発と提供
- ・ 人材育成



# 6-5. JAIRO Cloud(共用リポジトリサービス)

## ◆ NIIが開発・提供する機関リポジトリのクラウドサービス

- ・ 独自でリポジトリの構築・運用が難しい大学等に対して、各機関によるコンテンツの登載や公開を容易にする仕組み(平成24年度運用開始)
- ・ 今後の機関リポジトリ推進のための移行実験プロジェクトも展開

